



しんじゅくの教育

子どもたちの心のケア

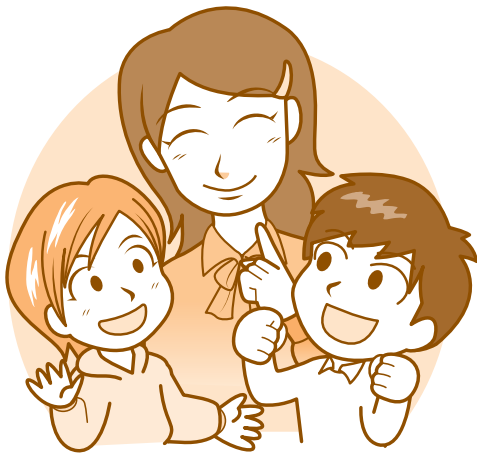
スクールカウンセラーの目を通して

最近、子どもたちが内面にストレスや不満を抱え込み、衝動的に問題行動を起こしたと思われる事例が多くなっています。こうした子どもたちに対しては、生徒指導に加えて、子どもたちの悩みや不安を受け止めて相談に当たることが大切になっています。

11校全校配置に加え、今年度から、スクールカウンセラーの派遣を小学校30校全校に拡大し、学校におけるカウンセリング機能の充実を図りました。小学校では、現在10名のスクールカウンセラーが、現場で多くの悩みと向き合いながら、学校や家庭と連携しながら活動しています。

区では、スクールカウンセラーの中学校

Aカウンセラー 小学校には、学ぶことの楽しさを体験していく2年生、仲間とのかかわりの楽しさに目覚める3・4年生、自分自身について考え始め、大人の言いつことに疑問をもち始める5・6年生がいます。そんな小学生に対して、スクールカウンセラーとして何が出来るか模索しています。学校内に相談室を作り、休み時間に開放している。さらには子どもが訪ねてきます。「相談」という形はとらなくても、何気ないおしゃべり、好きな絵をゆつくり描く、そんな中で子どもたちは、「心の声」を表現していきます。お



「おはようございます。」学校に、子どもたちの元気な声が響きます。でも、一人ひとりの子どもたちの心の調子は、日によって体の調子が違うように、いつも元気なわけではありません。心がチクリと痛むこともあれば、モヤモヤしたり、イライラしたりすることもあります。時には、恐怖心を覚えるようなショッキングなできごとに出遭ってしまふこともあります。そんなとき、子どもたちの心のケアをしてくれるのが、スクールカウンセラーです。子どもたちが少しずつ心を開き、ポツリポツリと話す内容を、否定したり、せかしたりせず、共感しながら優しく聞いてくれる心の専門家です。現在、各小学校で活躍しているスクールカウンセラーに、子ども・先生・保護者とかかわりの中で日ごろ感じていることや、それぞれの悩みなどを聞きました。

Dカウンセラー 子どもたちは、自分を理解し見守ってくれる大人の存在に安心し、成長していきます。子どもの心の成長のためには、大人がどうかかわってあげばよいか、保護者や教師と共に考えサポートするのもスクールカウンセラーの役割です。子どもたちに不安のない満たされた環境を築いていくことが大人たちの役目だと考えます。

見守る大人の存在

Cカウンセラー 「このままでいいのだから大丈夫か」「こんなこと話して笑われないだろうか」保護者の気持ちや考えは、固くなっていたり、縮こまっていたり、揺れていたたりします。そんな時は、子どもの姿も見えにくくなっています。しかし、心の内を言葉に出すことで、そんな気持ちに変化が起こります。もちろん、こちらの意見をお伝えすることもあります。不安が減る、それまでとは少し違う見方をするようになる、そんなふうにお役に立ちたいと思っています。

保護者の不安に向き合って

Bカウンセラー 先生には、学習面はもちろん、道徳やマナー、しつけといった家庭教育の部分での指導も多く求められています。そういった多様な要望のある中で、悩みを抱えたときには、先生とは異なる別の視点をカウンセラーが伝えることで、先生が励まされたり安心したりすることもあるようです。多忙な中で子どもたちと全力投球で向き合っている先生方を支えることも、間接的に子どもたちのサポートにつながっていると思います。

先生と共に

しゃべりにかくされた「心の声」をしっかりと受けとめることが、第一歩ではないかと考えています。

問合せ
教育指導課
☎(5273)3084

乙武洋匡さんが子どもの生き方パートナーに

今年度から、乙武洋匡さんが新宿区の「子どもの生き方パートナー」として活動を始めました。乙武さんは、スポーツライターとしても活躍中ですが、このたび、区の学校教育、児童・青少年育成、生涯学習など子どもに関するさまざまな分野で活動していくことになりました。

乙武さんは、「まず最初に現場を見たい」と4月から精力的に学校などの現場に出かけています。小・中学校では、通常の授業や運動会を見学したり、一緒に給食を食べ、児童館ではボール遊びなどをしながら、子どもたちとのふれあいを深めています。初めは緊張していた子どもたちも、気さくに話しかけてくれる乙武さんにすぐ打ち解けて笑顔になり、会話が弾んでいます。また、教員の研修会に参加したり、スクール・コーディネーターなどの地域の方とも話し合い、いろいろな立場の方から意見を聞いています。

問合せ
教育政策課企画調整係
☎(5273)3074



子どもたちと一緒に「おはようございます」子どもたちには、これまで幅広い体験を重ねてきた乙武さんの力強い生き方に触れたり、コミュニケーションを通して、「生きる力」につながる何かを感じ取ってほしいと考えています。教育委員会では、乙武さんがいるような現場での活動を通して感じたことを、子どもたちにとってのよりよい教育活動や生活環境づくりに活かしていきます。



帰ってきたなあ！いまは、そんな心境です。高校・大学時代を中心に9年間、新宿区に在住していましたが、今回このような形でふたたび青春時代を過ごした街とかわることができ、とてもうれしく思っています。ひさしぶりに新宿に戻ってきた印象は、何かが生み出されようとするパワーがみなぎっている、というものでした。多国籍の人が住み、多くの学生街を持ち、日本一の繁華街を有するこの街には、やはり他の街にはない活気があり、エネルギーが満ちているのです。子どもたちからも同じことを感じています。少子化の影響もあり、新宿区には全児童数が100人にも満たない小学校もありますが、だからといって学校に、子どもたちに元気がないわけではありません。どの子どもたちもエネルギーを秘め、キラキラした表情で日々の生活を送っているのです。今回、「子どもの生き方パートナー」という役割を与えただけでしたが、みなさんとともに子どもたちの笑顔を守り、その個性を大切に伸ばしていくことが何よりの職務と考えています。「この街で育ってよかった！」。将来、彼らからそんな声が聞こえてくることを願って、活動してまいります。

乙武 洋匡

牛込第三中学校

牛込第三中学校は、広い土のグラウンドに恵まれた明るく躍動感あふれた学校です。

学校を訪れると生徒たちは元気なあいさつで迎えてくれます。これは、気持ち良くあいさつができるようにと始めた「あいさつ運動」の成果です。はじめは「あいち運動」の成果です。はじめは「あいち運動」の成果です。はじめは「あいち運動」の成果です。



新宿区のすべての小・中・養護学校、幼稚園で特色ある教育活動に取り組んでいます。今回は、そのうち中学校2校をご紹介します。

落合中学校

ビルや住宅が立ち並ぶ新宿区の中で、落合中学校はおとめ山公園のすぐ隣にあり、自然を身近に感じることのできる学校です。

この恵まれた立地を生かして、生徒自ら課題を設定して自然環境についての理解を深め、主体的に行動できる実践的な能力を育成するように取り組んでいます。生物部を中心とした活動では、おとめ山の池の小さな水中生物の観察を通して、地域の落合ホテルを育てる会の活動

ティアを加えての授業や、少人数・習熟度別授業を行ったり、国語検定試験や英語検定試験を校内で実施するなど、生徒一人ひとりの学力を確かなものにするための指導を行なっています。

部活動は、さまざまな大会で、好成績を残している運動部だけでなく、文化部も数々の地域イベントに参加するなど活発に活動しています。

部活動以外でも地域との交流がさかんで、地域の方を招いての体験授業などを積極的に行なっています。神楽坂という伝統ある地域性を活かした三味線体験などは、地域の達人が講師をする授業で、生徒たちにも好評のようです。これからも、学校や地域のいろいろな活動に意欲的に参加することで、生徒一人ひとりの個性を伸ばし、心の成長を深める指導を行なっていきます。

にも参加しています。

また、昨年度は総合的な学習の時間を利用して、全学年で車椅子を使った福祉体験学習を行いました。体験前は「こんな楽勝」と言っていた生徒たちも、実際に動かしてみると、わずかな段差も思いうように進めません。体験してみなければわからなかったこともたくさんあったようです。体験学習後のアンケートでは、地域で困っている人がいたら、進んで助きたいという生徒の感想が多数ありました。

職業体験では、地域での勤労体験を通じて、それまで気づけなかった、まわりの人たちへの感謝の思いや、自分の将来を深く考えるきっかけにもなっています。

今年度は1年生が福祉・介護体験、2年生は地域に出て職業体験、3年生は救



急救体験などの体験学習を通じて、思いやりの心を育み、社会人になるための土台づくりを推進していきます。



平成18年度に使用する教科書が決まります。

新宿区立の小・中学校で使う教科書は、文部科学省の検定を受けたものの中から新宿区教育委員会が、構成・分量・表現など内容を吟味して選ぶ(採択すること)になっています。

今年度は、中学校で、来年度4月から使用する教科書について、新たに検定を受けたものの中から採択する「採択替え」の年にあたります。8月31日までにすべての教科書が決まり、4年間使用します。

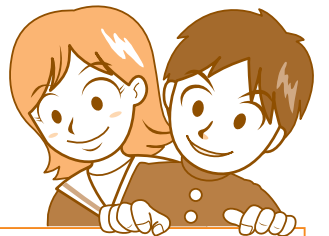
小学校で、来年度使用する教科書は、今年度と同じものを採択します。

また、新宿養護学校並びに小学校及び中学校の心身障害学級では、学校教育法第107条の規定に基づいて、一般図書の中から、児童・生徒の実態に応じて毎年、採択を行っております。教科書採択までの手続きの流れは下の図のとおりです。

教育委員会は、採択するまでの間、公正を確保し、厳正に調査・審議を進めます。

新たに採択した教科書は、「広報しんじゅく」や教育委員会のホームページでお知らせします。

問合せ
教育指導課
☎(5273) 3084



警察と学校との相互連絡制度がスタート

平成17年6月29日、新宿区教育委員会と警視庁は、「児童・生徒の健全育成に関する警察と新宿区立学校との相互連絡制度」における協定を結びました。

この制度は、近年、青少年による非行問題が増加・多様化していることに加え、少年が犯罪の被害者になることが多発していることを背景として、学校と警察がより緊密に連携・情報を共有することで、児童・生徒が非行や罪を犯すこと、または犯罪の被害者になることを防止し、健全育成を図ることを目的とするものです。

連絡対象事案

- ★ 深刻な暴力、刃物を使った傷害、盗難、物品損壊
- ★ 援助交際、薬物使用、深刻な学校間児童・生徒の争い
- ★ 児童虐待、性犯罪

【学校から警察への連絡】
警察との連携が特に必要であると学校長が判断した場合

連携による対応

- ★ 児童・生徒の安全確保対策
- ★ 個々の児童生徒の非行、問題行動に関する具体的な対応・指導
- ★ 家庭・関係機関との連携を図り、立ち直りの支援

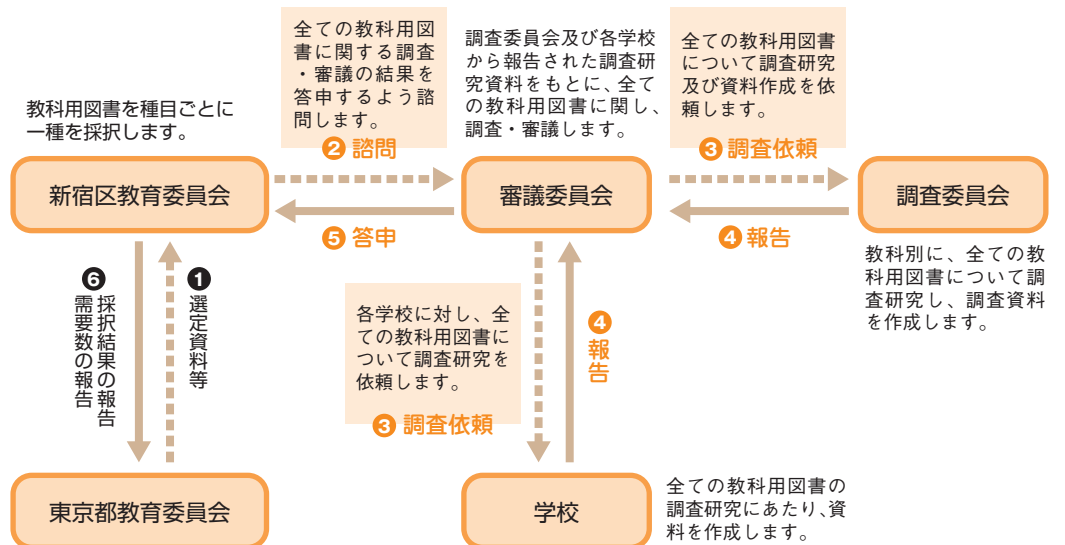
【警察から学校への連絡】
逮捕や補導をした場合や学校での継続的指導が必要とする場合

連絡対象事案

- ★ 万引、暴力行為、窃盗
- ★ 援助交際、薬物使用、性犯罪、詐欺、放火、偽造
- ★ 習慣的な飲酒・喫煙、深夜はいかい
- ★ 校外における他校間児童・生徒の争い

問合せ
教育指導課
☎(5273) 3084

教科用図書(教科書)採択までの手続き



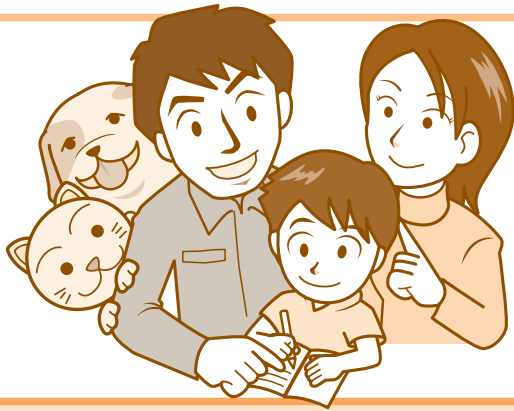
「しんじゅくの教育」編集担当では、皆様のご意見、ご感想をお待ちしています。また、新聞を購読していない等で郵送をご希望の方は、ご連絡ください。

問合せ
教育政策課企画調整係
☎(5273) 3074

★親子で遊ぼう
 グスベル体験や、手作り絵本など、親子で楽しみながらコミュニケーションを深めます。

★安心のまちづくりは家庭から
 子どもを守るため、子ども自身の力を引き出すとともに、家庭でどのように話し合ったら良いかを考えたり、効果的な安全マップの作り方、使い方を学びます。また、地域の大人たちがまち全体の安全について話し合う機会を作ります。

今年度は学校を使った防災・防犯キャンプなども予定しています。



今年度も家庭教育のための事業や講座を、地域の団体と協力して「新宿区地域家庭教育推進協議会」が中心となって開催します。

親子のふれあいを大切にしたい体験型の事業や、子育て中の親同士の話し合いの場づくりの講座などを計画しています。

また、土・日・夜間の時間帯に開催する講座もありますので、ぜひご参加ください。

事業や講座のくわしい内容や実施時期等については、広報しんじゅくや配布物などでお知らせします。

家庭での教育を支えます！

(家庭教育支援総合推進事業)



生涯学習振興課地域教育係
 ☎(5273)3147



※このような事業・講座の企画を公募していますので、ご提案もお待ちしております。

★お父さんと遊ぼう！

ふだん、平日の地域行事や家庭教育学習などへの参加が難しいお父さんが、子どもと一緒に遊ぶことで親子のふれあいを深める事業を開催します。「上手な子どもの撮影方法」や「夏休み木工工作(イス作り)教室」などを予定しています。

★フューチャークリエーションセミナー新宿

中高生を対象に、自分の持つさまざまな可能性に気づき、希望を持って仕事や子育てなど将来の課題に取り組みするような講座を開催します。

★親力パワーアップ

「大人が変われば、子どもが変わる」をテーマに、子どもとの接し方や、大人同士の付き合い方をコーチングなどの手法を使って実践的に身につけます。また、自然体験の中で親子関係を見直すなど、親としての意識を高め、家庭教育の向上や地域活動の促進となるきっかけづくりを行います。



▶定例プログラム

子育て中の外国人と日本人の交流の場として、4月からお弁当づくり、茶道体験、七夕・折り紙と楽しいプログラムを展開。あなたも友だちの輪を広げてみませんか？9月から新たな企画を検討中。詳細は毎月5日発行のoh!レガス新宿ニュースでお知らせします。

対応言語 韓国語・中国語・英語
 (他の言語はご相談ください。)



おやおか CLUB

外国人保護者のための親力パワーアップ講座

おやおかクラブは、外国人と日本人の保護者がいっしょに「困った」を解決し、仲間づくりをする講座です。毎月実施の定例プログラムのほか、特別プログラムも実施します。

▶特別プログラム 育児学級

「病気の時どうしたらいいの?」「食事はどうしている?」「どこへ遊びに連れていこうかな?」子育てについてのおしゃべり、情報交換の場です。保健師によるお話、育児相談もあります。仲間づくりにぜひご参加ください。

日時 7月27日(水) 午前10時~12時
会場 西新宿保健センター(西新宿7-5-8)
対象 0~3歳児と外国人の保護者
対応言語 韓国語・中国語・英語
 (他の言語はご相談ください。)

▶特別プログラム 高校進学ガイダンス

「日本の高校進学のシステムは複雑でわかりにくいと思いませんか?」受験生を抱える方、高校進学に興味のある方はいってください。NPOや現役の中学校の先生が日本の高校進学について説明し、個別に相談をお受けします。

日時 7月24日(日) 午後1時30分~5時
会場 コズミックセンター(大久保3-1-2) 3階 大会議室
対応言語 韓国語・中国語・英語・タイ語・タガログ語・スペイン語(他の言語はご相談ください。)

※生涯学習財団ホームページ<http://www.regas-u-shinjuku.or.jp/>から申込みが可能です。

平成17年度の教育予算について

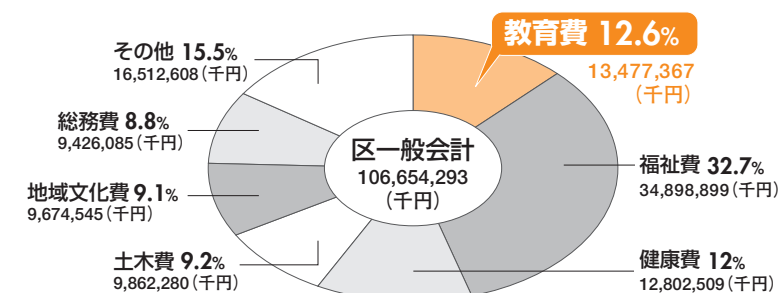
平成17年度の教育関係予算は、134億7,736万7千円(区全体予算の12.6%)で、主な事業は下記のとおりです。

- ★特色ある学校づくり4,292万5千円
- ★少人数学習指導の推進2,325万4千円
- ★心身障害教育の充実(新規)2,310万5千円
- ★学校施設の計画的整備9億6,456万1千円
- ★国際理解教育の推進5,124万8千円
- ★子ども読書活動の推進2,337万5千円



なお、前年度予算額と比較して11億6,747万8千円(9.5%)の増で、これは主に、学校施設の計画的整備において、投資的経費が四谷小学校の建設4億円、西早稲田中学校及び新宿中学校の建設に伴う旧校舍解体等6億円がそれぞれ皆増となったことによるものです。

平成17年度区一般会計歳出予算内訳(当初予算)



構成比は項目単位で四捨五入しているため合計と合わないことがあります。

図書館運営協議会

区立図書館では、さまざまな図書館サービスについて、学識経験者や図書館利用者など各方面から幅広い意見をいただき、より良い図書館サービスの向上を目的に図書館運営協議会を設置しています。

図書館運営協議会委員は、図書館の運営やサービスに関して研究・協議し、教育長に意見を述べるすることができます。

今年度は改選時期で、6月に新しく委員が決まりました。

委員の構成は、社会教育団体関係者2名、区立学校関係者1名、学識経験者3名、図書館利用代表者4名、図書館職員4名の合計14名で任期は2年間です。

今任期は主に17年3月に提言としてまとめた「区立図書館サービスの

基本的なあり方について」の具体的検討、実現化に向けて、協議を進めています。

なお、図書館運営協議会は、傍聴できますので、希望される方は、直接会場へお越しください。(開催は広報しんじゅく及び館内のポスターでお知らせします。)



中央図書館
 ☎(3364)1421

【図書館運営協議会委員名簿】五十音順・敬称略(図書館職員は除く)

氏名	現職	選任区分
小野 栄子	(公募委員)	利用者代表委員
神崎 健也	(公募委員)	利用者代表委員
小滝 岩夫	新宿区津久戸小学校長	区立学校関係委員
提坂 温子	(公募委員)	利用者代表委員
武田由起子	新宿区社会教育委員	社会教育団体関係委員
戸谷 好子	(公募委員)	利用者代表委員
松田 弘子	新宿区社会教育委員	社会教育団体関係委員
宮内美智子	青葉学園短期大学教授	学識経験者委員
◎三輪建二	お茶の水女子大学教授	学識経験者委員
◎矢口徹也	早稲田大学教授	学識経験者委員

◎会長 ○副会長

「しんじゅくの教育」編集担当では、皆様のご意見、ご感想をお待ちしています。また、新聞を購読していない等で郵送をご希望の方はご連絡ください。



教育政策課企画調整係
 ☎(5273)3074

身近な記念館をめざして



林美子記念館では、区民や利用者の方と協力して運営を行っていくための試みとして、6月から解説ボランティアが活動を開始しました。

解説員は、美子の愛読者や文学・歴史の愛好家など、養成講座を修了した、19名が登録しています。春・秋の繁忙期の土曜・日曜・祝日に、住居や庭・展示品などの概要を20分ほどガイドします。解説は初めてという方が大半でしたが、緊張しながらも、学習成果を活かした意欲的な解説を行いました。秋は9月中旬から11月まで活動する予定です。

問合せ
新宿歴史博物館
☎(3359)2131



新中学校2校の開校記念式典と今後のスケジュール

6月1日に西早稲田中学校、6月2日に新宿中学校で開校記念式典が行われ、保護者や地域の方々が集まり、新校の開校を祝いました。今後、次の日程で進めていく予定です。

- 平成17年5月～平成18年3月末 新校舎の設計
- 平成17年7月～ 埋蔵文化財調査(試掘)
- 平成17年10月～平成18年3月末 旧校舎解体工事
- 平成18年6月中旬～平成20年2月末 新校舎建設工事

四谷地区小学校の今後のスケジュール

平成19年4月に四谷第三小学校と四谷第四小学校及び旧四谷第一小学校の3校が統合され、四谷小学校が開校します。旧四谷第一小学校跡地に建設する新校舎については設計と旧校舎の解体が終わって、今後次の日程で進めていく予定です。

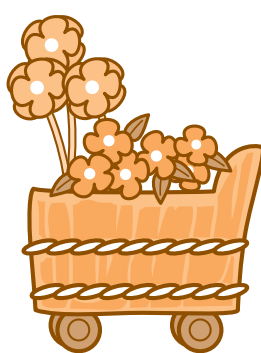
- 平成17年7月～9月 埋蔵文化財調査(本掘)
- 平成17年10月下旬～平成19年3月 新校舎建設工事

◇工事等の際に近隣の皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解くださいますようお願いいたします。

文化財係からのお知らせ

旧四谷第一小学校跡地は現在発掘調査中で、江戸時代の旗本屋敷の跡が見つかっています。8月末に遺跡見学・説明会を予定していますので、ご参加ください。

問合せ
生涯学習振興課文化財係
☎(5273)3563



平和都市宣言20周年記念「平和展」

【日時】
7月30日(土)～9月4日(日)
午前9時30分～午後5時30分

【内容】
戦中戦後の新宿の暮らしなどがわかる戦争関連資料と平和のポスターの展示

問合せ
総務部男女共同参画・平和担当
☎(5273)4088
又は新宿歴史博物館
☎(3359)2131

関連イベント

講演会

【日時】 7月30日(土)午後2時～
【内容】 「ハンナのかばん」石岡史子氏

講演と映画

【日時】 8月13日(土)午後2時～
【内容】 講演「戦争と文化遺産～記憶を未来へ伝えるために～」安藤正人氏
映画「父と暮せば」(主演：宮沢りえ)

映画会

【日時】 ①8月13日(土)午前10時30分
②8月27日(土)午前10時30分
③8月27日(土)午後3時30分
【上映作品】 「父と暮せば」(前出)

上記の会場はすべて新宿歴史博物館です。詳細については左記までお問合せください。

新宿区教育委員会の動き

◆教育委員会について◆

教育委員会は、区議会の同意を得て区長が任命した5名の委員で構成する合議制の執行機関です。会議は、毎月1回第1金曜日(都合により変更あり)に定例会を、また、必要に応じて臨時会を開催して、教育行政の基本的施策の決定や議案の審議をするほか、諸事項について事務局から報告を受けています。今号では、平成17年3月29日から7月1日までに開催された教育委員会の主な議決事項等をお知らせいたします。

議案

- 新宿区立新宿スポーツセンター条例について
- 新宿区立新宿コズミックスポーツセンター条例について
- 新宿区立図書館の管理及び運営に関する規則の一部を改正する規則
- 児童・生徒の健全育成に関する警察と新宿区立学校との相互連絡制度の協定の締結について
- 平成17年度新宿区一般会計補正予算(第1号)について

選挙

- 新宿区教育委員会委員長の選任について
 - 新宿区教育委員会委員長職務代理者の選任について
- 新宿区教育委員会の構成は、次のとおりとなりました。

委員 長：櫻井美紀子
委員長職務代理者：内藤 頼誼
委員 員：熊谷 洋一
委員 員：木島富士雄
教 育 長：金子 良江



櫻井委員長

報告事項

- 図書館運営協議会の提言について
- 女神湖高原学園の指定管理者について
- 生涯学習施設への指定管理者制度の実施について

教育委員会はどなたでも傍聴できます

会議の日時、場所、議案については、下記までお問合せください。

傍聴を希望される方は、開始時刻の10分前までに会議場へお越しください。その場で傍聴券をお渡しします。ただし、お酒を飲んでいる等傍聴するのに不適当と認められるときや会議場の都合で多くの方が入場できないときには、傍聴をお断りする場合があります。

また、議案等の内容が個人情報に関係するなど会議を公開することが不適当と教育委員会が決定した場合は、非公開とすることもありますので、あらかじめご了承ください。

問合せ
教育政策課管理係
☎(5273)3070